

2023.6.1

第12号

広報

せきかわ連合



発行 関川地区土地改良区連合
 責任者 理事長 野口 和広
 〒943-0185
 新潟県上越市大字長面14番地1
 TEL 025-524-8800
 FAX 025-522-5724
 URL <http://www.sekikawarengo.com>
 E-mail info@sekikawarengo.com

子どもたちに残す「農地と用水」

笹ヶ峰ダム周辺は記録的な少雪でした！



笹ヶ峰ダム積雪状況

満水の笹ヶ峰ダム (R4.5.30撮影)



今年 (R5.4.3)



昨年 (R4.4.5)

今冬は、笹ヶ峰ダム周辺での降雪が少ない上に、3月に入り気温の上昇や降雨により融雪が進んだことにより記録的な少雪となり、かんがい期の水不足が心配されますが、稲の品質や収量に影響が出ないように、万全な体制で用水確保に努めてまいります。

4月1日現在の笹ヶ峰ダムの積雪は観測開始43年間で過去最少の積雪となっています。

笹ヶ峰の5ヶ年間の積雪状況

年	H31(R1)年	R2年	R3年	R4年	R5年	平年
最大積雪深	349	231	310	526	190	360
4/1積雪深	190	100	130	235	65	234

関川地区土地改良区連合 第52回通常議員総会(R5.3.24)理事長挨拶

第52回通常議員総会開会にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

日頃より、関川地区土地改良区連合の事業運営にご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

当関川地区土地改良区連合は、三土地改良区（関川水系、和田、水上）を所属土地改良区とし、笹ヶ峰ダム管理業務のうち、ダム操作、観測測定、機器保守点検等について県から業務委託を請けており、あわせて国営事業により造成・改修された幹線用水路、頭首工等の管理を、農林水産省北陸農政局から管理を受託しているところであります。

さて、世界的な気候変動の影響により気象災害が激甚化、頻発化しているなか、防災・減災・国土強靱化等により災害に屈しない国土づくりが進められています。

このようななか、農業水利施設についても老朽化対策を加速化するとともに、防災・減災対策により災害に対するリスクを軽減し、食料を持続・安定的に生産・供給することが重要であります。

しかしながら、昨今の農業農村を取り巻く環境は、米価の低迷、農業従事者の高齢化、担い手の不足など厳しい状況となっています。さらに、円安やウクライナ情勢等による肥料価格や生産資材、揚水機場の電気料等の高騰等の影響により、厳しさが増えています。

こうしたなか、昨年の上越地域の稲作は天候にも恵まれ、また、農業者の方々のたゆみない努力の結果、コシヒカリの10年連続の特Aの評価を頂き、首都圏を始めとする消費地の皆様方からの取引が更に向上しているとお聞きしているところであります。これも偏に国、県、市はもとより、農業者、農業団体等の総力の結果と思っております。

一方、貯水池内の堆砂は多発する梅雨や台風による豪雨により増加していることから、現時点で有効貯水量の約1割が減少しており、これからも毎年2万m³が減少する予測となっています。このままの状況が進むと、今後、ダムの貯水容量不足の発生が懸念されます。

健全な笹ヶ峰ダムの機能を確保するためには、抜本的な堆砂対策が急務であり、また、上流域からの流入土砂を減少させる対策も重要と考えています。

また、近年は、水利施設の老朽化に伴う機能低下や故障等により維持管理費が増大しております。

特に本地域に広がる農地約5,800haの重要な水源施設である笹ヶ峰ダムは、厳しい気象条件下に位置しているため設備の劣化が著しく、現在、国営かんがい排水事業「関川用水地区」により設備の改修・更新工事等が実施されており、事業工期は数年で完了をむかえます。改修した施設が将来にわたり安定した機能が発揮できるように、確実な改修工事の実施、完了と、抜本的な堆砂対策事業の早期着工に向けて国営土地改良事業関川用水地区推進協議会を主体に、新潟県選出国會議員等をはじめ、農林水産省に対し、令和5年度も積極的な要請行動に取り組めます。

また、前歴の直轄地すべり対策事業において対策工事を行っていますが、一部のブロック背後において、融雪時等の地下水位上昇により大規模な地すべり土塊の滑動が確認され、地すべり災害の危険性が増しています。

このため、令和3年度から国直轄地すべり対策事業「笹ヶ峰二期地区」が着工され、対策工事が進められています。

今冬は、少雪であった平成28年度と同量の積雪で、平年の半分程度であることに加えて、3月からの気温が高い状態が続いたため、雪解けが進み、かんがい期の水不足が懸念されます。私どもは稲の品質や収量に影響が出ないよう、万全な体制で用水確保に努めてまいります。

なお、今後の気象状況により、所属土地改良区が管理する幹線用水路等、管内全域での番水を含めた節水対策が必要となります。

このような情勢のなか、関川地区土地改良区連合は、用水の安定供給に向け、多くの先人が遺してくれた笹ヶ峰ダムや野尻湖をはじめ、幹線用水路等を適切に維持管理し、後世へ引き継ぐことが使命であると考えています。



関川地区土地改良区連合
理事長
野口 和広

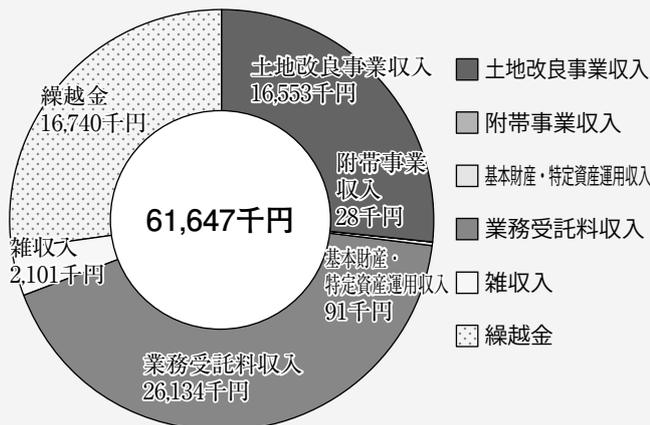
令和5年度事業計画及び予算

事業計画

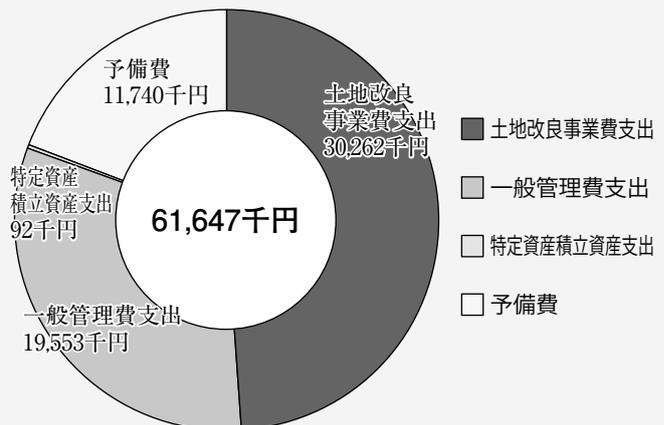
- 1 国営関川用水土地改良事業及び直轄地すべり対策事業の促進
 - ・国営土地改良事業関川用水地区推進協議会を主体に国等へ要請
- 2 笹ヶ峰ダムの抜本的な堆砂対策について
 - ・毎年2万m³の堆砂の増加が想定される中、抜本的対策の早期実施を国へ要請
- 3 笹ヶ峰ダムの管理について
 - ・近年の渇水等の異常気象に備えたダム貯水計画と、万全な用水の供給体制の構築
- 4 環境に配慮した笹ヶ峰ダムの管理について
 - ・内水面漁協や市内小学校とタイアップし、イワナの放流活動等を実施

令和5年度一般会計予算計画

【収入】

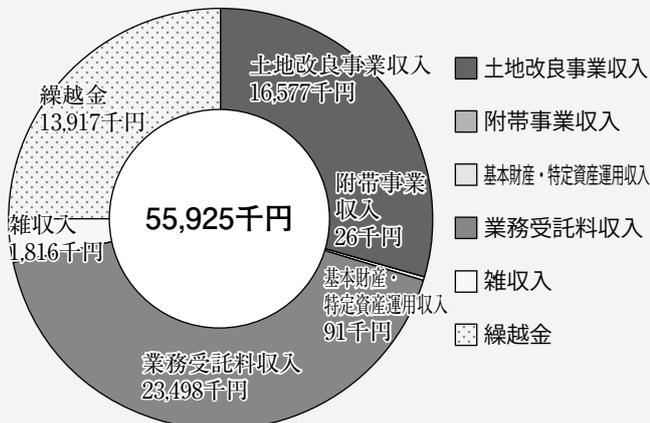


【支出】

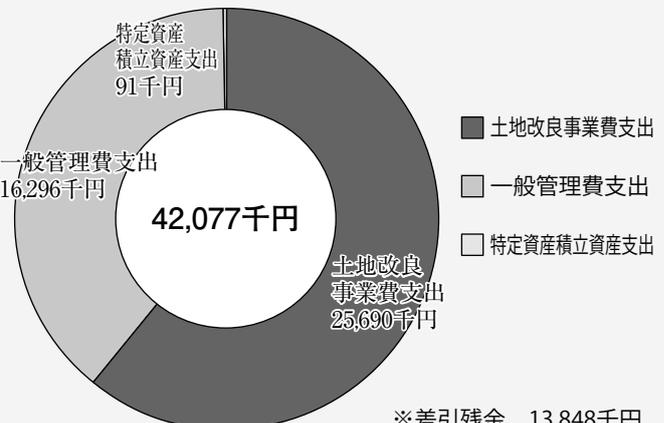


令和3年度一般会計決算報告

【収入】



【支出】



※差引残金 13,848千円 (R4年度へ繰越)

笹ヶ峰ダム貯水計画

笹ヶ峰ダムでは、記録的少雪の為、例年より貯水開始時期を早め、5月中旬に満水にして管理を行いました。

今後はダム周辺の花々の積雪も少ないことから、融雪水によるダムへの流入量の早期減少、それに伴いダムからの放流量も減少が予想されますので、「節水」にご協力ください。

国営関川用水農業水利事業

現在、国営関川用水農業水利事業により、ダム施設、幹線用水路等の改修工事が進められております。

<R4年度の主な実施工事>

▼洪水吐ゲート改修工事



▼洪水吐ゲート上屋建設工事



▼取水設備スクリーン改修工事



▼旧インクライン設備改修工事



笹ヶ峰ダム見学者の皆様へ

今年も改修工事が行われるため工事車両や重機の往来があり、また、歩行者用通路が狭くなる箇所がありますので、見学者の方々にはご不便・ご迷惑をおかけいたしますが、見学の際は十分ご注意ください！

また、立入禁止区域は危険ですので、絶対に入らないでください！